

令和元年度神石高原町立豊松小学校公開授業研究会を11月19日（火）に開催しました。

【研究主題】

数学的な見方・考え方を育てる授業の創造

【研究内容】 ○児童が主体的に取り組む学習に向けて ○数学的な見方・考え方の育成に向けて

公開授業より（算数）

1 年 ひきざん(2)



4 年 小数×整数,
小数÷整数



ひまわり学級
変わり方



5 年 面積



6 年 立体の体積



2 年

たんぽぽ学級
べつべつに いっしょに



※2 年は、
授業を
公開して
いません



児童発表より



豊松一番太鼓(5・6年)

心をつにしてたたく太鼓の音は迫力があり、体育館に響き渡りました。

参加者の方からも、感動したとの感想をいただきました。

開会行事より



神石高原町立豊松小学校 校長 光元 和恵

実践発表より



神石高原町立豊松小学校 研究主任 兼重 智考

講評・講演より



広島文教大学 教育学部 教育学科長
教授 今崎 浩 様

閉会行事より



神石高原町立豊松小学校 教頭 妹尾 真由美

広島文教大学 教授 今崎 浩 先生より『「数学的な見方・考え方」を鍛える』と題して、目指すべき深い学びについてのご講演がありました。数学的な見方の例として、児童発表の太鼓を挙げられ、太鼓のリズムを2の倍数、3の倍数ととらえることができることなど具体的に説明していただきました。また、見方・考え方は、その教科等ならではの物事を捉える視点や考え方であり、学ぶ本質的な意義の中核をなすものであることも学びました。

見方・考え方・授業づくり・評価の充実・改善点など学ぶべき視点が数多くありました。研究会は通過点です。学んだことをこれからの教育活動に生かしていきます。